

関係者各位

日本ラクロス協会

男子競技ルール変更について

2016年12月度定例理事会にて以下の男子競技ルール変更が承認されましたのでご案内致します。

1. 推奨防具の追加

国内の練習中に発生した心臓震盪、内臓破裂等の事故を鑑み、ルール17.1に規定する防具以外に、ショルダーパッド、エルボーパッド、リブパッド、ファウルカップの着用を前文にて推奨。

2. マウスガードの義務化とゴリー用の用具

2012年より国際ラクロス連盟ルールでも変更になっていたが、今般他競技にて発生した脳震盪に起因する死亡事故の発生を受け、JLAルールでも導入。また併せてゴリー用の用具についての追記と明文化。

※参考情報

US Lacrosse Position Statement on the Use of Mouthguards in Lacrosse

<http://www.uslacrosse.org/sites/default/files/public/documents/safety/statement-on-mouthguards.pdf>

日本スポーツ歯学会「標準的なマウスガードの製作方法の提言」

<http://kokuhoken.net/jasd/global/mouthguard.shtml>

	ルール改正の目的・契機／影響				
	改正の目的・契機			改正の影響の考慮	
	1)競技ルール・大会規約の目的への適合	2)国内競技の強化・普及促進	3)FIL・NCAAルールへの適合、世界の競技動向への対応	4)大会運営への影響の考慮	5)チーム・選手の利益・不利益、対応可否・難易
1. 推奨防具の追加	安全促進	○	○	影響なし	利益あり
2. マウスガードの義務化とゴリー用の用具	安全性の担保	○	○ (FILに対応)	試合前の確認方法	利益あり (ただしコスト増)

なおヘルメット、マウスガード、グローブ、エルボーパッド、ショルダーパッド、リブパッド、ファウルカップなどの防具は、それぞれ適切な着用方法がありますので、メーカーのHPIにて確認し、遵守するよう心掛けてください。

また指導者は危険なプレーを許さない指導を徹底し、審判員は危険なプレーを防ぐゲームコントロールを心掛けてください。

以 上

1. 推奨防具の追加

【現行】

競技ルールの概略

-スピード溢れる試合展開-

ラクロスの大きな魅力は、そのスピード感にある。大きなフィールドをいっぱいに使った展開、オフェンスからディフェンス／ディフェンスからオフェンスへの素早い切替え、ゴール前での緊迫感溢れる攻防等は、ラクロスの特徴付けるものである。したがってルールには、こうした魅力を引き出し、損なわないための配慮が必要とされる。

また、こうした「スピード」は、時に、選手同士の激しい接触等による事故を招くこともあり、選手の安全確保のために最大限の配慮が求められる。

【変更】

競技ルールの概略

-スピード溢れる試合展開-

ラクロスの大きな魅力は、そのスピード感にある。大きなフィールドをいっぱいに使った展開、オフェンスからディフェンス／ディフェンスからオフェンスへの素早い切替え、ゴール前での緊迫感溢れる攻防等は、ラクロスの特徴付けるものである。したがってルールには、こうした魅力を引き出し、損なわないための配慮が必要とされる。

したがってルールには、こうした魅力を引き出し、損なわないための配慮が必要とされる。

また、こうした「スピード」は、時に、選手同士の激しい接触等による事故を招くこともあり、選手の安全確保のためにルール17に規定されている防具に加え、ショルダーパッド、リブパッド、エルボーパッドおよびファウルカップの着用を強く推奨する。

2. マウスガードの義務化とゴーリーの用具

【現行】

17.1

全ての選手は保護用のグラブ、適切な靴およびフェイスマスクと両側を適切に留められるチンストラップ付きのヘルメットを着用しなければならない。

選手はグラブの切れた部分から指を出してはならない。全ての指はグラブの中に入れ、グラブの一部としなければならない。選手は指をグラブの外に出してプレーしてはならない。

また、選手はグラブを切り取って手のひらは出してもよい。

また正式なゴーマーは、着用義務のある防具（スロートガード、チェストパッドおよびファウルカップ）を着用していなければならない。

選手がフィールド内で、必要な用具を失った場合、すぐにプレーは中断される。さもないければ、この状況でフラッグは投げないが、ルール83に記述されているスローホイッスルと同じ方法で、審判はホイッスルを遅らせる

【変更】

17.1

全ての選手は保護用のグラブ、適切な靴およびフェイスマスクと両側を適切に留められるチンストラップ付きのヘルメットを着用しなければならない。正式なゴーマーを含めたすべての選手は、口腔および口腔内歯を保護するマウスガードを着用しなければならない。

マウスガードとは

- i) 商品として販売されているもので、選手の上顎の歯をすべて覆えるように成形できるようになっているもの
- ii) 上顎の歯すべてを覆えるように歯科医もしくは歯科技工士により調整されたもの
- iii) 歯科医もしくは歯科技工士により選手の受傷回避のために作られた口腔内保護用品

マウスガードは白と透明以外の一見して着用がわかる色のものが望ましい。

選手のグラブの指の部分を切ってはならず、すべての指はグラブの中に入れ、グラブの一部となっていなければならない。選手は指をグラブの外に出してプレーしてはならない。また、選手はグラブを切り取って手のひらは出してもよい。

また正式なゴーマーは、着用義務のある防具（スロートガード、チェストパッドおよびファウルカップ）を着用していなければならない。正式なゴーマーは体型に合ったものであれば、サッカー用のすね当て、コンプレッションショーツ、アメリカンフットボール用のパンツを着用してもよい。コンプレッションショーツおよびアメリカンフットボール用のパンツを着用する際には、パンツ用のパッドの有無は問わない。

ゴーマーのクロスを除いて、ゴーマーが着用するすべての用具は、選手の頭部と胴体を保護するために作られたものでなければならず、ゴーマーがボールを止めるのを補助するものであってはならない。ゴーマーの着用するユニフォーム、上着、チームの短パンもしくはパンツは、ゴーマーがボールを止めるのを補助するものであっては

ならず、必ず防具の上に着用し、体型に合ったものでなければならない。

選手がフィールド内のプレーが行われているエリアで、マウスガードを適切に着用していない場合も含め、必要な用具を失った場合もしくは着用していなかった場合、すぐにプレーは中断される。さもなければ、この状況でフラッグは投げないが、ルール83に記述されているスローホイッスルと同じ方法で、審判はホイッスルを遅らせる

AR 17.1

A1がボールを持ってBチームのゴールへ向かって走っていき、近くにはBチームの選手がいなかったとする。A1は必要な用具を失ったが、シュートをし、得点をした。

判定

上記の状況下では、正当な得点であるが、A1に何らかの傷害の危険性がある場合、審判員はすぐにプレーを中断しなければならない。

判定

チンストラップがはずれた場合も同じ判断がなされる。

AR17.2

プレーが行われているエリア内で、選手が着用義務のある防具を着用していない、もしくは正しく着用していなかった。

判定

テクニカルファウルとなりイリーガルプロシージャールを科す。

以上